

# 政府方針 早期決定を

## 仙台で 推進協 17年度総会、決議採択



東北誘致

【仙台支社】国際リニア  
コライダー(ILC)の誘  
致を目指す東北ILC推進

協議会は28日、仙台市内で  
2017年度の総会を開  
き、日本政府に国内誘致方  
針の早期決定を求める決議  
を採択した。誘致の可否判  
断が迫る本年度は実現に向  
けて正念場となり、東北一  
丸で受け入れ態勢の構築を  
加速させることを確認し  
た。【関連記事2面】

資を抑えることが大筋合意  
され、局面が大きく動こう  
としている。実現に向け政  
府に積極的に働き掛けてい  
く」とあいさつした。

加速器技術での日米中心の  
共同開発推進などを求め、  
国内誘致の早期決定を促  
す。決議を踏まえ、5月に  
政府要望を行う。

Cのコスト削減が8月に国  
際承認され、18年夏までに  
は欧州で素粒子物理戦略の  
議論が本格化すると説明。  
「この1年が重要。今ある  
インフラを生かしてまちづ  
くりの準備を進めなければ  
ならない」と促した。

宇宙創成の謎に迫るIL  
Cは岩手、宮城両県にまた  
がる北上山地(北上高地)  
が世界最有力の建設候補地  
とされ、日本政府は17年末  
から18年ごろ国内誘致の可  
否を判断する見込み。